令和元年１０月４日

千葉市長　熊　谷　俊　人　様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長　横　山　清　亮

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

平成３１年４月１８日付け３１千市総第３０号で諮問のありました標記の件について、別紙の緑区役所部会からの報告のとおり答申します。

千葉市
受 01.10.04 付
31 千市総
第 276 号

令和元年７月１１日

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長　横　山　清　亮　様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
緑区役所部会
部会長　小　野　寺　浩　一

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

平成３１年４月１８日付け３１千市総第３０号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

１　指定管理者の行った施設の管理に係る評価（平成３０年度分）について
（議決日　令和元年７月２日）

（１）千葉市緑区鎌取コミュニティセンター

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について
市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。

イ　管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

（ア）施設稼働率及び利用者数について、市が設定している最終年度の数値目標を達成したことは評価できる。今後とも利益の還元が得られるようサービスの向上に努められたい。

（イ）自主事業について、参加者が少なく赤字が見込まれる事業の中止や、参加無料事業の有料化等検討し、収支状況の黒字化に努められたい。当該指定管理者は、市内複数のコミュニティセンターの指定管理をしており、知識・経験が豊富なことから、情報共有をし、魅力的な自主事業の実施を期待する。

（ウ）指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、損益の状況は順調に推移しており、財政的にも安定していることから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。

（２）千葉市土気あすみが丘プラザ

ア　市の作成した年度評価案の妥当性について
市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
大規模改修工事の関係で、全面開館が４月・５月の２か月間であったにも関わらず、モニタリングの時期が１０月であったことについては、正しい評価をする上で検討の余地があったと考える。

イ　管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について

（ア）大規模改修工事の影響で、２か月のみの稼働であったため、施設稼働率及び利用者数について、市が設定している最終年度の数値目標を達成できなかったことは、やむを得ないが、改善の余地がある。収支状況の黒字化は評価できるため、今後とも数値目標達成や利益の還元が得られるよう努められたい。

（イ）休館中に防犯カメラの設置やWifiの設置をするなどして、市民のニーズに応え

る設備の増強ができたことは評価できる。今後とも利用者サービスの向上に努められたい。

（ウ）指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、経営成績は増収増益と良好で、資産状況も安定しており、強固な財政基盤を有していることから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。